

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》関口 真有

【概 要】

公認心理師の活躍の場は多岐にわたり、精神科医療だけでなく、さまざまな疾患における心理的支援や多職種連携が求められている。本講義では、健康・医療心理学Ⅰやアセスメント、支援法などで学んだ知識を基に、実習科目で求められる知識の習得を目指す。また、架空事例を交えながら、臨床現場において、どのように知識を活かしていくのかを学ぶ。

【学習目標】

- ①様々な領域における心理社会的課題と心理的支援を理解する。
- ②様々な領域における心理職の役割や多職種連携について理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ストレスと心身の疾病との関連	ストレス・モデルに基づくストレスマネジメント、リラクセーションについて学習する。	関口 真有
2	健康心理学におけるアセスメントと心理的支援	健康心理学におけるアセスメントの方法や心理的支援の実際について学ぶ。	関口 真有
3	医療現場における心理社会的課題と心理的支援①（精神科領域）	精神科における心理職の役割、代表的な疾患、アセスメントや支援方法について、架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
4	医療現場における心理社会的課題と心理的支援②（児童精神科領域）	児童精神科領域における心理職の役割、代表的な疾患、アセスメントや支援方法について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
5	医療現場における心理社会的課題と心理的支援③（周産期領域）	産婦人科領域における主な疾患、患者の抱える課題、心理的支援について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
6	医療現場における心理社会的課題と心理的支援④（高齢期）	認知症の主な特徴と患者の抱える問題、支援の実際について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
7	医療現場における心理社会的課題と心理的支援⑤（難治性疾患）	難治性疾患領域における患者の抱える問題、心理的支援について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
8	医療現場における心理社会的課題と心理的支援⑥（心身症）	心身医学的な配慮が必要な主な疾患の特徴、患者の抱える問題、支援方法について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
9	医療現場における心理社会的課題と心理的支援⑦（生活習慣病）	糖尿病や肥満などの患者が抱える問題、心理的支援について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
10	医療現場における心理社会的課題と心理的支援⑧（がん 緩和ケア） 医療現場における心理社会的課題と心理的支援⑨（終末期患者のケア、遺族ケア）	がん患者の抱える様々な問題、心理的支援について、架空事例を交えながら学ぶ。 終末期患者の抱える様々な問題、心理的支援について学ぶ。また、がん患者遺族に生じる問題や、心理的支援について架空事例も交えながら学ぶ。	関口 真有
11	心理師の役割と心理的支援の特徴、介入の際の留意点について（課題提出）	これまで本講義で学んだ領域から1つ選び、その領域における心理師の役割と心理的支援の特徴、介入の際の留意点についてレポートする。	関口 真有
12	様々な医療現場とコンサルテーション、地域連携と多職種協働	精神科コンサルテーション、リエゾンについて学び、総合病院におけるチーム医療の実際を学ぶ。 地域保健活動の現状、地域連携について学ぶ。また、地域保健活動や医療現場における地域連携の実際について学ぶ。	関口 真有
13	転院や退院により介入回数が限られてしまう際の心理師の役割を考える（課題提出）	面談回数が限られていたり、介入できる回数が少ない場合の心理職としての役割をレポートする。	関口 真有

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
14	自殺予防活動、予防的アプローチ	自殺のリスク要因や支援方法、遺族ケアなどについて学ぶ。 一次予防、二次予防、三次予防の概念について学び、医療保健、福祉などの現場における予防のための心理社会的介入方法について学ぶ。	関口 真有
15	メンタルヘルスの予防における心理師の役割について（課題提出）	メンタルヘルスの予防における心理師の役割についてレポートする。	関口 真有

【評価方法】

ワークシート30%、レポート70%

【備 考】

教科書 ： 適宜プリントを配布する。

参考書 ： 宮脇 稔・大野太郎・藤本 豊・松野俊夫（編）「健康・医療心理学」（医歯薬出版株式会社）
鈴木 伸一（編）「からだの病気のこころのケア」（北大路書房）
鈴木 伸一（編）「臨床心理学の新展開 チーム医療に活かす心理学の最前線」（北大路書房）

【学習の準備】

予習：シラバス記載内容を参考に、参考書、関連図書などを用いて講義内容を予習すること（30分）

復習：毎回実施する復習問題に正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと（30分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

- ・心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
- ・社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得している。

上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

臨床心理士・公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

臨床心理士・公認心理師としての実務経験に基づき、医療現場で必要とされる知識を修得できるように講義する。